



軽トラック型の「せいきょう便」



くらしのセンターを使った「居場所」

2020年組合員集会資料

いつまでも住みつづけられる 2030 まちづくりを 協同の力で実現しよう



大谷果樹組合「目ぞろえ会」



「日本海山形県沖地震募金贈呈式」



コープおきなわ「ファミリーピースウォーク」



共同購入の仕組みを使った「フードドライブ」贈呈式

生活協同組合 共立社



「ピースアクションinヒロシマ」

組合員活動の輪を 県内に広げます

平和とくらしを守る 運動をすすめます

食の安全・安心・健康を 守り、食糧自給率の 向上につなげます

◆組合員数は16万40人になりました。
◆こぶ委員会数は89
委員会・登録人数は
808名となりました。
◆空白地区では新たに
3つの委員会が立ち上
がりました。(新庄・
おおくら・寒河江・あ

さひ・西置賜・えくほ
会) 20年度も空白地区
を中心に、新たなこぶ
委員会結成に取り組
みます。
◆各こぶ委員会が中
心となって、班長・組
合員のつどいを運営し、
多くの方が気軽に参加
できるような企画
で交流を深めまし
た。



▲山形生協「やまがた学びカレッジ」は新しい教室の立ち上げにつながる

◆こぶ委員長会
議を開催し、地域
生協の課題・委員
会の活動を共有し、
交流を深めました。
◆年々変化してい
る組合員の生活ス
タイルに応じて、
仕事や子育て、介
護などの生活様式
に応じた生協の活
動に参加できるよ
う、環境や条件づ

くりを進めます。
○地域理事とこぶ委
員長が地域の活動のリ
ードできるよう、情報
交換・意見交流を行
いながら組合員主体の委
員会活動を目指します。
◆リニューアルしたホ
ームページやFace
bookを使い、お知
らせや活動報告を行
いました。20年度も、こ
れまで以上に委員会活
動の様子が分かるよう
な情報発信を行います。
◆組合員同士が気軽に
つながる機会として、
「おしゃべりの会」を
年4回開催しました。
引き続き開催し、報告
書で寄せられた声を共
有し、声によるつな
がりを広げます。

に、共立社理事1名が
参加しました。
◆「第37回ピースア
クションinオキナワ」に
向けて、組合員3名、職
員1名の参加を予定し
ていましたが、新型コ
ロナウィルスの影響に
より中止になりました。
○20年度も「ピース
アクションinオキナワ」
へ代表派遣を行います。
◆各地域生協で、平和
のつどいや原爆展の他
「ピースアクションin
ヒロシマ」の参加者報
告、DVD学習、「憲
法カフェ」など身近な
集まりで平和学習を進
めました。

○平和と憲法9条を守
る運動をすすめるため
「安倍9条改憲反対!」
改憲発議に反対する全
国緊急署名「運動と学
習活動」に取り組みます。
○地域の団体と連携し、
情勢に合わせた運動を
すすめます。
◆「10月消費税10%増
税反対」請願署名に
2019年5月末まで
取り組み、1万163
7筆を集約しました。
◆広報誌「いっしょに
COP」臨時号を発
行し、共立社の消費税
に対する対応と考え方
複数税率に備え、セン
ターや共同購入の対応
を分かりやすく伝えま
した。
○20年度も、くらしを
取り巻く様々な問題に
ついて、情勢に合わせて
学習をすすめます。

◆「産地交流」を年7
回、「援農交流」を年
2回開催し、組合員の
べ182名、職員のべ
73名が参加しました。
20年度も継続し、生
産者との信頼関係を深め
ます。
◆ゲノム編集食品の流
通が始まり、共立社と
して、より厳格な規制
を求める意見書を関連
省庁に提出しました。
(11/9付) 20年度は、
実効性の高い届け出制
度と選択できる表示の
義務化を求めて国に働
きかけていきます。
○こぶ商品60周年を
迎えるにあたり、「生
協でしか利用できな
い」こぶ商品の良さを
組合員に伝え、利用
を広げます。
○「食品の安全パンフ
レット」の最新版を作
成し、組合員と職員の
学習をすすめます。
○山形県産商品の取り
扱いを積極的にすめ、
地産地消を広げ、食糧
自給率アップにもつな
げます。
○山形県産の農畜産
物を利用した、生協ら
しい惣菜や簡単に調理
できる加工食品の拡大
に取り組みます。

◆「産地交流」を年7
回、「援農交流」を年
2回開催し、組合員の
べ182名、職員のべ
73名が参加しました。
20年度も継続し、生
産者との信頼関係を深め
ます。
◆ゲノム編集食品の流
通が始まり、共立社と
して、より厳格な規制
を求める意見書を関連
省庁に提出しました。
(11/9付) 20年度は、
実効性の高い届け出制
度と選択できる表示の
義務化を求めて国に働
きかけていきます。
○こぶ商品60周年を
迎えるにあたり、「生
協でしか利用できな
い」こぶ商品の良さを
組合員に伝え、利用
を広げます。
○「食品の安全パンフ
レット」の最新版を作
成し、組合員と職員の
学習をすすめます。
○山形県産商品の取り
扱いを積極的にすめ、
地産地消を広げ、食糧
自給率アップにもつな
げます。
○山形県産の農畜産
物を利用した、生協ら
しい惣菜や簡単に調理
できる加工食品の拡大
に取り組みます。

※SDGs(エスディーゼス): 日本語で「持続可能な開発目標」と表現されます。2015年に国連で採択された目標で、2030年までに世界中の人々が目指すべきゴールで、17の目標が掲げられています。

地域の諸団体とも手をつなぎ 誰ひとり取り残さない 持続可能な地域を創ります

「日本国憲法は世界に冠たるものである」「古
くさい非現実的な精神主義」と嘲笑し、日本の魂
を売り渡してはならない、戦争以上の努力を傾け
て平和を守れ」と語ったNGO「ベシヤール会」
の中村哲医師が昨年12月、アフガニスタンで武装
勢力の凶弾にたおれました。
しかし、今の日本の状況を見る時、国民の多く
が憲法改定を望んでいないにもかかわらず、現政
権は憲法改定に強い執念を燃やしています。そし
て、最大の目的は憲法に自衛隊を明記する9条の
改憲であり、日本を「戦争のできる国」に作り変
えようとするものです。私たちは、決して諦めず
この改憲阻止のために力を合わせましょう。

2019年10月、多くの国民が反対する中、消
費税が増税されました。業績格差、経済格差が広
がる中で増税は、消費を大きく落ち込ませてい
ます。新型コロナウイルスの感染拡大による不況
が広がる中、消費税減税も含めた対応が政府には
求められます。また、東日本大震災から9年が経
過しました。原発事故があった福島では、未だ3
万人を超える人々が故郷を追われ、避難生活を余
儀なくされています。しかし、国は「原発ありき」
の姿勢を変えようとはしていません。

「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、
2030年をゴールに世界中が取り組むSDGs。
人類はこれまで経済的發展を求め、国同士が争い
自国の主張を第一に掲げることで経済格差や温暖
化による干ばつを招
き、核兵器の発展な
どにより多くの大切
なもの、自然と人
間の関係性を失って
きたのではないでし
ょうか。

今、取り戻すべき
はSDGsが掲げる
「持続可能な社会」
であり、それは協同
組合の理念でもあり
ます。

◆東日本大震災復興支
援募金に取り組む、1
27万642円のご協
力がありました。お預
かりした募金のうち、
14万161円を「福島
の子ども保養プロジェ
クト」現地支援活動費
用に、残り112万
6481円をいわて生
協、みやぎ生協、コー
プふくしま、福島県生
協連の4つの生協に送
りました。20年度も継
続します。

◆福島県生協連主催
「福島の子ども保養プ
ロジェクト」の山形保
養地としての支援に取
り組みました。
◆いわて生協「宮古復
興まつり」に参加し、

被災地支援活動を行
いました。また、「CO
OP真崎わかめ」を生
産している田老町漁協
を訪問し、軍手799
双と募金1万2000
円を贈呈しました。
○東日本大震災から10
年目となる今年度は、
今後の取り組みにつ
いて検討します。

◆日本海山形県沖地震
(6/18)への募金活
動に取り組む、総額68
万7099円の募金が
寄せられ、鶴岡市に贈
呈しました(9/19)。
◆「台風19号被害緊急
支援募金」に取り組む
最終137万4611円
の募金が寄せられ、お
預かりした募金のうち、

10万円を産直生産者団
体南陽のんのん倶楽部
へ、12万7461円
を日本生協連に送り、
被災地支援に役立てら
れました。

◆ユニセフ東ティモ
ール指定募金に取り組
み、150万9933円の
ご協力がありました。
12月には、県内4地域
で街頭募金「ハンド・
イン・ハンド」を実施
しました。20年度も継
続します。

◆内陸地域の共同墓
地・納骨堂を、山形市
中松田に建設して事業
を開始します。

安否確認などができる
ようにしました。
◆鶴岡地域で軽トラッ
ク型の「せいきょう便」
を導入しました。
◆買物配達を幅広くお
知らせし、お買物のお
役立ちを強めました。
○軽トラック型移動店
舗の増車を実施します。

○「子どもの未来アク
ション」に賛同し、学
習会を開催しながら、
子どもの貧困問題に対
する支援と理解を広げ
ます。

◆「移動店舗・買物配達」
利用者台帳を作成し、
買物に來なかつた方

◆「産地交流」を年7
回、「援農交流」を年
2回開催し、組合員の
べ182名、職員のべ
73名が参加しました。
20年度も継続し、生
産者との信頼関係を深め
ます。
◆ゲノム編集食品の流
通が始まり、共立社と
して、より厳格な規制
を求める意見書を関連
省庁に提出しました。
(11/9付) 20年度は、
実効性の高い届け出制
度と選択できる表示の
義務化を求めて国に働
きかけていきます。
○こぶ商品60周年を
迎えるにあたり、「生
協でしか利用できな
い」こぶ商品の良さを
組合員に伝え、利用
を広げます。
○「食品の安全パンフ
レット」の最新版を作
成し、組合員と職員の
学習をすすめます。
○山形県産商品の取り
扱いを積極的にすめ、
地産地消を広げ、食糧
自給率アップにもつな
げます。
○山形県産の農畜産
物を利用した、生協ら
しい惣菜や簡単に調理
できる加工食品の拡大
に取り組みます。

※4R運動: 環境への負荷が少ない「循環型社会」を形成するために必要な4つの取り組みの頭文字をとったもの。
Refuse(リフューズ) 必要のないものを断る、Reduce(リデュース) ごみを減らす、Reuse(リユース) 繰り返し使う、Recycle(リサイクル) 再資源化

◆生協の施設を活用し
た地域の「居場所づく
り」は、9地域14会場
に広がりました。また、
医療生協やまがたや社
会福祉協議会など他団
体と連携した「居場所
づくり」が進みました。
20年度も、更に幅広い
活動に取り組むことを
目指します。

◆山形生協では、「み
んなの食堂」を月に1
回開催し、多世代が気
軽に集える居場所とな
っています。この取り
組みをきっかけに、町

内会等とのつながりが広
がり、地元の第十地区の
ネットワーク会議にも参
加しています。8月から
は、学習支援として「い
っしょにおべんきよう
会」がスタートしました。
○くらしのセンターや分
け合いステーションを活
用した「居場所づくり」
に取り組めます。また、
さらに広げるために、既
存施設以外の新たな拠
点づくりを研究してい
きます。

◆医療生協やまがたと共
立社が締結した「地域
の

◆「子どもの未来アク
ション」に賛同し、学
習会を開催しながら、
子どもの貧困問題に対
する支援と理解を広げ
ます。

◆「移動店舗・買物配達」
利用者台帳を作成し、
買物に來なかつた方

◆「移動店舗・買物配達」
利用者台帳を作成し、
買物に來なかつた方

◆「移動店舗・買物配達」
利用者台帳を作成し、
買物に來なかつた方

◆「移動店舗・買物配達」
利用者台帳を作成し、
買物に來なかつた方

◆「移動店舗・買物配達」
利用者台帳を作成し、
買物に來なかつた方

※「フードドライブ」: くらしのセンターで対象商品を購入後に、そのまま寄付していただく取り組み。
センター地域の他に、北村山生協の生協まつりでも実施しました。

2019年度 組織の到達と事業決算の報告

2019年度は組合員数純増1,164名でした。出資金は16.9万円の増加になりました。

(単位:人・班)

	共立社合計	鶴岡生協	新庄生協	北村山生協	山形生協	天童生協	酒田生協	南陽生協	寒河江生協	西置賜生協	コープよねざわ	他	共立社本部
組 合 員 数 (人)	160,040	39,460	8,344	7,077	48,047	4,835	24,138	5,912	4,734	5,710	4,440	7,343	
班 数 (班)	12,699	1,679	1,419	1,095	3,062	834	1,240	1,160	655	1,098	473		
出 資 金	37億7,087万円	10億0,641万円	2億9,038万円	3億0,174万円	8億9,470万円	2億4,629万円	4億7,839万円	1億9,899万円	1億5,777万円	1億3,017万円	5,971万円	627万円	
供 給 高	196億4,290万円	64億2,688万円	7億9,492万円	5億8,240万円	53億3,779万円	4億5,343万円	35億3,265万円	6億0,977万円	5億7,649万円	5億8,719万円	4億3,134万円		3億1,002万円

- 共立社本部の供給高は、葬祭事業・サービス事業・配食事業、協同の苑（庄内）、でんきの小売りの合計です。
- 出資金および供給高については、各金額について万円未満を切り捨てて表示しています。よって各生協の合計額と共立社合計欄の金額は一致しません。
- 出資金は、一口（500円）未満の預り金を含む金額です。

組合員の利用結集により、累積損失を解消することが出来ました。出資配当を再開します。

損益計算書

自2019年3月21日 至2020年3月20日

主 な 項 目	金 額
供 給 高	196億4,290万円
供 給 剰 余 金	53億0,394万円
そ の 他 事 業 収 入	3億9,089万円
事 業 総 剰 余 金	57億2,356万円
事 業 経 費	56億3,730万円
人 件 費	27億4,911万円
物 件 費	28億8,819万円
事 業 剰 余 金	8,625万円
事 業 外 収 支	5,559万円
経 常 剰 余 金	1億4,185万円
特 別 収 支	△1,101万円
法 人 税 等	2,159万円
法人税等調整額	△6,455万円
当 期 純 剰 余 金	1億7,380万円

- ・特別収支は、共同購入物流・こびあコープ酒田他の固定資産除却等によるものです。

貸借対照表

2020年3月20日現在

資 産 の 部	金 額	負 債 お よ び 資 本 の 部	金 額
流 動 資 産	30億5,679万円	流 動 負 債	38億8,239万円
現 金 預 金	15億5,718万円	仕 入 未 払 金	18億2,257万円
供 給 未 収 金	8億8,249万円	短 期 借 入 金	5億8,051万円
商 品	4億1,525万円	未 払 費 用	5億0,842万円
そ の 他 流 動 資 産	2億4,634万円	そ の 他 流 動 負 債	9億7,086万円
貸 倒 引 当 金	▲4,448万円		
		固 定 負 債	22億5,778万円
		長 期 組 合 員 借 入 金	8億0,603万円
		長 期 借 入 金	8億4,136万円
固 定 資 産	68億7,537万円	そ の 他 固 定 負 債	
有 形 固 定 資 産	63億3,186万円	負 債 合 計	61億4,017万円
無 形 固 定 資 産	9,263万円	組 合 員 出 資 金	37億4,732万円
そ の 他 固 定 資 産	4億5,088万円	損 失 金	
		当 期 未 処 理 剰 余 金	4,467万円
		純 資 産 合 計	37億9,199万円
資 産 合 計	99億3,216万円	負 債 ・ 純 資 産 合 計	99億3,216万円

- ・各金額については、万円未満を切り捨てて表示しています。よって合計欄との金額は一致しません。

剰余金処分案

期 首 繰 越 損 失 金	1億2,913万4,902円
当 期 未 処 理 剰 余 金	4,467万2,720円
剰 余 金 処 分 額	1,948万9,296円
I 法 定 準 備 金	450万0,000円
II 出 資 配 当 金	1,498万9,296円
III 次 期 繰 越 剰 余 金	2,518万3,424円

- ・法定準備金は剰余金の10%以上の積立が必要です。
- ・出資配当金は年間平均額に対して0.4%です。



2020年度 組織・事業計画(案)

①組合員拡大計画 純増1,220人で、161,260人到達を目指します

(単位:人)

組合員拡大	共立社合計	鶴岡生協	新庄生協	北村山生協	山形生協	天童生協	酒田生協	南陽生協	寒河江生協	西置賜生協	コープよねざわ	他
純 増 計 画	1,220	400	30	50	300	50	100	100	50	50	90	0
到 達	161,260	39,860	8,374	7,127	48,347	4,885	24,238	6,012	4,784	5,760	4,530	7,343

②出資金 純増3,300万円で、38億0,387万円到達を目指します

出資金増資	共立社合計	鶴岡生協	新庄生協	北村山生協	山形生協	天童生協	酒田生協	南陽生協	寒河江生協	西置賜生協	コープよねざわ
純 増 計 画	3,300万円	100万円	200万円	400万円	500万円	300万円	500万円	400万円	300万円	300万円	300万円
到 達	38億0,387万円	10億0,741万円	2億9,238万円	3億0,574万円	8億9,970万円	2億4,929万円	4億8,339万円	2億0,299万円	1億6,077万円	1億3,317万円	6,271万円

③積立増資 純増60名参加で、10,017名の到達を目指します

(単位:人)

積立増資者	共立社合計	鶴岡生協	新庄生協	北村山生協	山形生協	天童生協	酒田生協	南陽生協	寒河江生協	西置賜生協	コープよねざわ	他
純 増 参 加 者 計 画	60	10	5	5	0	10	5	5	5	10	5	0
到 達	10,017	1,764	1,242	957	2,180	759	1,161	618	496	578	256	6

- ・共立社本部の供給高は、葬祭事業・サービス事業、配食事業、電気小売り事業利用高の合計です。
- ・各金額について万円未満を切り捨てて表示しています。また組合員数と出資金は、地域生協に属さない分は他の欄に記載しています。よって各生協の合計額と共立社合計欄の金額は一致しません。

④事業計画

供 給 高	196億8,251万円
事 業 総 剰 余 金	58億0,789万円
事 業 経 費	56億9,892万円
人 件 費	27億6,162万円
物 件 費	29億3,730万円
事 業 剰 余 金	1億0,897万円
事 業 外 収 益	6,438万円
事 業 外 費 用	2,284万円
経 常 剰 余 金	1億5,050万円

⑤CO・OP共済の取り組み計画

	加入計画	到 達
CO・OP共済《たすけあい》	1,881人	22,136人
CO・OP共済《あいぶらす》	1,386人	10,223人
CO・OP共済《ずっとあい》	63人	2,469人
CO・OP生命共済《あいあい》	182人	2,241人
C O ・ O P 《火災共済》	0人	109人
合 計	3,512人	37,178人



2020年組合員集会資料
生活協同組合 共立社

〒997-8588山形県鶴岡市宝田一丁目3-23
〈代表〉☎0235 (22) 5111 <https://www.yamagata.coop>
コールセンター ☎0120-916-244